

ポリプロピレン系樹脂チューブ

UP-TUBE

ユービーチューブ

UPチューブは、ポリプロピレン(PP)を主原料にした樹脂チューブで、自動化・省力化機器や半導体製造装置、理化学機器などで使用する空気、水といった気体、液体の配管に適しています。PPを基材として、軟性を高めるオレフィン系樹脂を独自の比率で配合、PPならではの優れた耐薬品性、高いコストパフォーマンスと、最小曲げ半径:9.0mm(4×2.5タイプ)という柔軟性を兼ね備えるとともに、最高使用圧力:0.8MPaという耐圧性能を実現しました。高圧状態で使用していないナイロンチューブなどの交換用として、またプラスチック継手「Zユニオン」を利用する現場に最適な樹脂チューブとして、導入コスト削減に貢献します。

特 長

- 高コストパフォーマンスを実現
- PP系樹脂チューブとして優れた耐圧性能(0.8MPa)
- プラスチック継手「Zユニオン」用チューブとして最適
- 優れた柔軟性が小さい曲げ半径を実現、限られたスペースでの配管が可能
- PP同様の優れた耐薬品性能
- 半透明チューブのため、流体の目視確認が可能
- 高精度センサによる品質管理で安定品質を実現

主な流体と用途

<流 体>

空気および、その他気体*

水(純水、水道水、一般工業用水*)、その他液体*

<用 途>

自動化・省力化機器、
半導体製造装置、理化学機器など



プラスチック継手 Zユニオン

* 使用に際して、化学薬品や有機溶剤、塩分、腐食性ガスを含む場合は、不良の原因となることがあります。「耐薬品性一覧表」を参照ください。

UPチューブ仕様一覧

タイプ (外径×内径)	品番	外径 (mm)	内径 (mm)	最高使用圧力 ^{*1} (MPa)	最小曲げ半径 ^{*2} (mm)	チューブ長さ (m)
4×2.5	UPP-4	4.0	2.5	0.8	9.0	100
6×4	UPP-6	6.0	4.0		14.0	
8×5	UPP-8	8.0	5.0		18.0	
10×6.5	UPP-10	10.0	6.5		24.0	

*1 実用温度範囲における値

*2 最小曲げ半径は、外形変化率が10%以下となる値

実用温度範囲表

流体の種類によって、実用温度範囲が異なります。

流 体	空気、気体*	水、液体*	一般作動油*
実用温度範囲	-20℃～60℃	0℃～60℃	未対応

* 使用に際して、化学薬品や有機溶剤、塩分、腐食性ガスを含む場合は、不良の原因となることがあります。「耐薬品性一覧表」を参照ください。

* 液体を使用する場合は、凍結がないようにしてください。

耐薬品性一覧表

耐薬品性一覧表の判定は、材料そのものの耐薬品性を示すもので、製品としての耐薬品性を保証するものではありません。

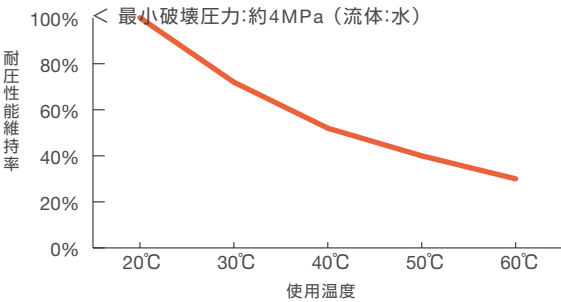
薬 品 名	温 度	
	20℃	60℃
スピンドル油	×	×
潤滑油	×	×
オリーブ油	△	△
亜麻仁油	△	△
n-ヘンタン	×	×
ベンゼン	×	×
トルエン	×	×
キシレン	×	×
フェノール	△	△
エチルアルコール	○	△
グリセリン	△	△
エチルアセテート	×	×
アセトン	△	—
メチルエチルケトン	△	×
ジエチルエーテル	×	—
クロロホルム	△	—
四塩化炭素	△	×
ニトロベンゼン	△	×
ガソリン	×	×
ケロシン	×	×

薬 品 名	温 度	
	20℃	60℃
硫酸(98%)	△	△
※(100%)	○	△
硝酸(50%)	×	×
※(100%)	○	△
塩酸(38%)	○	△
※(100%)	○	△
リン酸(85%)	△	△
酢酸(100%)	○	△
苛性ソーダ(50%)	○	△
※(100%)	○	△
アンモニア水(25%)	○	△
塩化ナトリウム(10%)	△	△
重クロム酸塩—硫酸混液(30%)	△	△
過酸化水素水(10%)	△	×
次亜塩素酸ソーダ(20%)	△	△
過マンガン酸カリウム(20%)	△	△
アルキルベンゼンスルホン酸ソーダ(100%)	△	—

○…使用可
△…要テスト
×…使用不可

使用温度 - 最小破壊圧力特性 (参考値)

使用温度によって、最小破壊圧力が変化します。



● 安全にご使用いただくために、以下の注意事項をよく読み、必ずチューブの仕様範囲内で正しくお使いください。

注意事項

- 本製品の仕様および、特性を確認し、必ず仕様範囲内(実用温度範囲、最高使用圧力、最小曲げ半径、耐薬品性能など)で、正しく使用してください。
- チューブは傷つけないようにしてください。【破裂、漏れの原因】
- チューブの切断には、専用工具を使用してください。また、切断後は、必ず切断面が直角であることを確認してください。【漏れ、抜けの原因】
- 接続後はチューブに引っ張り、ねじれ、曲げ、ひねりがないように、また荷重がかからないようにしてください。【つぶれ、破裂、漏れ、抜けの原因】
- ねじれ、つぶれ、劣化、軟化など、チューブの状態を定期的に点検してください。
- 流体に化学薬品、有機溶剤、塩分、腐食性ガスが含まれる場合、不良の原因となることがあります。また、薬品の使用にあたっては、パンフレットに記載の「耐薬品性一覧表」を参照ください。
- 本チューブの採用にあたり、当社が推奨する以外の継手を使用する場合は、あらかじめ継手との組み込み評価、安全評価を実施し、問題がないことを確認のうえ、使用ください。

USHIO

USHIO LIGHTING

ウシオライティング株式会社

東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-9-1 Tel:03-3552-8277(直)
大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-6 アクロス新大阪ビル Tel:06-6395-6161(代)
名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-7-30 ORE名駅東ビル Tel:052-589-1340(代)
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-8-12 博多駅南MTビル Tel:092-411-5945(代)

www.ushiolighting.co.jp

- このカタログに記載されている商品の形状、仕様および価格は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 印刷の関係上、実際の製品とカタログ上の色には、多少の差が生じる場合もあります。
- このカタログに記載されている内容は、2012年10月現在のものです。

1H001-1211-2K

販売代理店

